

良子

……やっぱりダメだ。

(舞台明転) コンビニ。
(心地よい音楽が流れている)
店内は明るくキレイに整頓されている。
良子が店の真ん中で封筒を見つめている。
封筒には何か物が入っているらしくふつくらとしていて湿っている。
良子は意を決して封を開けようとする。

1

登場人物

良子 コンビニ店員 女子高生 (17)
店長 コンビニ店長 (40)
鈴木 八百屋店長 (30)
客 雑誌編集長 (25)
遠藤 ラジオのアナウンサー (31)
三沢 ラジオのリポーター (26)

良子は封筒を開けるのをやめて、レジの下にしまう。
(突然古いポップチューンの曲が流れてくる)

店長 良子。

店長がバックヤードから出てくる。

店長 良子。

店長 名曲じゃないか。そんなことよりアレどこかに片付けたか?

店長 さっきの音楽がよかったのに。

店長 アレ片付けたか?

店長 アレといえばアレだろ。ほら。アレじゃわかんない。

良子 私のカレンダーで良ければ、あげるよ?

店長 ……まいった、スーちゃんと約束しちゃったしな。

店長 自分の娘を疑う気?

店長 ホントにホントか。

店長 ホントに知らない。

店長 嘘つくな。

店長 私は知らない。

店長 事務所の、机の下に入れておいたんだ。

店長 カレンダー?

店長 ごめん。カレンダーだ。

店長 カレンダー?

店長 店長がカレーのルーを綺麗に棚に戻す。

店長 どうしたの?

店長 日立電線のだけど?

店長 もっと美少年のカレンダー使ってみよ。

店長 写真がおつきいだけで書き込めないじゃん。

店長 とにかく違うんだ。大物タレントのカレンダーだよ。

店長 大物って誰?

店長 それは今ここでは言えない。

店長 なんだよ。

店長 盗聴器が置いてある。

店長 嘘? どこ?

店長 気になるよ。

店長 お父さんはな、前テレビで見たんだよ。その大物タレントは意外にもフロア好きで、健康ランドにもよく行っている。

店長 最初に「カレー」がつく。ほら! アレだよ! これだけ言えば、わかるだろ!

店長 カレー?
店長 違うの?
店長 たぶん違う。
店長 じゃあ何?
店長 最近、物忘れが激しくって、ど忘れしてしまっただ。
店長 ちょっと待って。
店長 良子が店長に店にあるカレーのルーを渡す。

店長 はい。カレー。これでしょ。
店長 (カレーを見つめて) これだっけ?
店長 違うの?

店長 良子が店長に辛さ百倍のカレーのルーを渡す。

店長 はい。間違いない?
店長 これできつと間違いない。

店長 店長、カレーを持ってバックヤードに去る。
店長の声 あ!

店長 辛さ百倍のルーにしてくれ。
店長 辛さ百倍のルーね。
店長 うん。
店長 やっぱカレーなんじゃん。

店長 良子が店長に辛さ百倍のカレーのルーを渡す。

店長 はい。間違いない?

店長 これできつと間違いない。

店長 店長、カレーを持ってバックヤードに去る。

店長の声 あ!

店長 店長が戻ってくる。

店長 どうなの?

店長 日立電線のだけど?

店長 もっと美少年のカレンダー使ってみよ。

店長 写真がおつきいだけで書き込めないじゃん。

店長 とにかく違うんだ。大物タレントのカレンダーだよ。

店長 大物って誰?

店長 それは今ここでは言えない。

店長 なんだよ。

店長 盗聴器が置いてある。

店長 嘘? どこ?

店長 気になるよ。

店長 お父さんはな、前テレビで見たんだよ。その大物タレントは意外にもフロア好きで、健康ランドにもよく行っている。